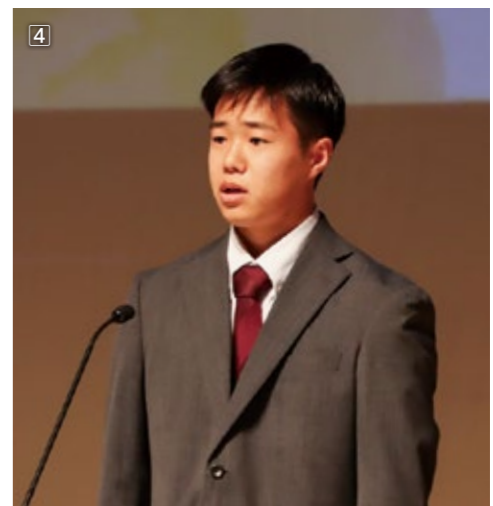


# はたち to わたし



- ①「20」を表すポーズで撮影
- ②③ 久々の再会に笑顔があふれる
- ④ 参加者を代表して抱負を発表した川崎瞭さん。現在東北大に在学中で、将来は宇宙開発に携わるエンジニアを目指す
- ⑤ 15人の参加有志による郷土芸能披露
- ⑥ 仲間と久々の再会でガッツポーズ
- ⑦ 私たちの明るい未来にピース
- ⑧ ハートフルな人生を歩んでいきます
- ⑨ 実行委員の皆さん。約半年間にわたり企画の立案などを行いました。当日は、司会や市民憲章・防災市民憲章唱和を行うなど、自分たちの手で「はたちのつどい」を作りあげました

はたちのつどいが1月7日、釜石市民ホールTETTOOで開かれ、対象者274人中244人が出席。家族や友人たちと二十歳の門出を祝いました。

式典では、代表の川崎瞭さん（鶴住居町）が「釜石の復興を導いてくれた偉大な大人たちに、釜石、そして日本の未来を任せてくれと胸を張って言えるような大人になろうと思います。これから先の人生で僕たちは多くの困難に出会い、その度にここにいる仲間と助け合いながら前に進もうと思えます」と力強く二十歳の抱負を述べました。

この他、中学・高校時代の恩師からのビデオメッセージ、郷土芸能披露などで会場は大きな盛り上がりを見せ、市民憲章唱和などで大人としての自覚を新たにしました。

参加者は、友人たちとの久々の再会や写真撮影などを楽しみ、決意に満ちたまなざしで未来への新たな一歩を踏み出しました。

あなたはどんな大人に？  
各代表に聞いてみた

### 代表抱負発表



川崎 瞭さん

司会進行



太田 愛香さん 岡本 佳琳さん

市民憲章・防災市民憲章唱和



杉田 翔さん

郷土芸能披露



平野 裕太さん

紙面で紹介しきれなかった「はたちのつどい」の写真を市のホームページに掲載しています！

